

史料による倭姫命の御巡幸地の違い

『日本書紀』	『皇太神宮儀式帳』	『倭姫命世記』
		(豊鍬入姫命) 但波乃吉佐宮 倭国伊豆加志本宮 木乃国奈久佐浜宮 吉備国名方浜宮 倭弥和乃御室嶺上宮
(豊鍬入姫命) 倭笠縫邑	宇太乃阿貴宮	(倭姫命) 宇多ノ秋宮
(倭姫命) 菟田筱幡	同佐々波多宮 伊賀穴穂宮 同阿閉柘殖宮	同佐々波多宮 伊賀国隠市守宮 同穴穂宮 同敢ノ都美恵宮
近江国	淡海坂田宮	淡海国甲可日雲宮 同坂田宮
美濃	美濃伊久良賀宮	美濃伊久良河宮 尾張國中嶋宮
伊勢国	伊勢桑名能代宮 鈴鹿小山宮 耆志藤方片樋宮 飯野高宮 多気佐々牟江宮 玉岐波流磯宮 宇治家田田上宮	伊勢国桑名能代宮 鈴鹿国奈具波志忍山宮 阿佐加藤方片樋宮 飯野高宮 佐々牟江宮 伊蘇宮 矢田宮・宇治家田田上宮

☆『太神宮諸雜事記』は、尾張國中島郡の次に三河国渥美郡、遠江国浜名郡を巡り、伊勢国飯高郡に入る。